

英語研修講師の麻衣ちゃん



えっとですね。

僕が関わってる人の中に、研修会社の麻衣ちゃんって女の子がいてですね。

ま、彼女はもともと大きな上場企業の子会社で役員さんの秘書をやっていた人なんですけど。

子会社っていったって、どでかい企業なんですけどね。

ま、そこで役員秘書をやっていた麻衣ちゃんがいて。

で、まあ、独立起業します、みたいな話で。

で、僕、彼女の事業の立ち上げの時から関わってきたんですけど。

で、彼女がなにをやっているかって言ったら、英語の研修をしているわけで^^

で、この研修がちょっと変わっていて。

研修先は日本各地にある空港なんですよ。

あの～、日本各地に空港があってですね。

で、空港管理会社ってのがあるわけですが。

その空港管理会社にはその会社にお勤めしている女子さんたちがいて。

で、その女子さんたちって、航空会社のグランドホステスさんとかじゃないですからね。

基本、地味な人たちなんですよね。

ま、僕からしたらみんなオンナノコって呼んじゃいますけど、まあ、なんか、いわゆる掃除のおばさん、って言われるような人たちだったりするわけ。

ま、そうなんだけど。

でも、なんか、オリンピックがらみで、オモテナシとかいう言葉がはやっちゃって。

まあ、日本に観光に来る外国人さんたちも増えてきたから、英語での対応は必須、って感じになってですね。

ま、そんな空港の管理会社の女の子たちに英語の研修をしましょうと。

ま、そんな感じのビジネスをしているわけですよ、この麻衣ちゃんは。

で、この研修の単価が1回150万円なわけで。

まあまあいい金額だと思うんですけどね。

で、社員さんは4人いて。

で、成約率は60%ぐらいだから、これもまたいい感じだと思うんですけどね。

でこの麻衣ちゃんがある日、僕に言うわけ。

「一條さん、私、成約率あげたいんだけど、パワポ直すの手伝ってくれない？」って。

でさ、僕がなにを思ったかっていうと。

いやいやいや。

単価150万円ってけっこう高いしさ、それで成約率6割だったらもうそれでいいんじゃない？って。

で、そうやって言ったら、麻衣ちゃんが、いや、私は成約率を上げたい！って言うわけで。

え〜、そんなこといったってさ、もうなんか、マーケティング的な話はほとんどやってるしさ。

これ以上ってのはなかなか難しいと思うよ〜って言ったらさ。

麻衣ちゃんが、でも、私は成約率をあげたいの！って言うわけで。

ん～。

しょうがねーなー。

そういうことだったら、マーケティングがどうこうっていう話じゃなくて、自分の軸みたいなところを触りにいかないといけないよ？って話になってさ。

っていうのも、僕がクライアントさんに関わる時って、この軸、みたいなことを扱うことも結構多いからさ。

ま、じゃ、それでやってみるかってことになって。

で、僕が軸を考えるときには、まあ、その人の業務の内容に関係したところから掘り返していったりするわけですけどね^^

で、ま、その人の業務に関係したテーマについて書き出しとかをしてもらうわけですよ。

で、麻衣ちゃんに関していうと、「英語」っていうテーマで書き出しをしてもらったわけ。

つまり「私にとって英語とはなにか？」ってことを書いてもらったのね。

そしたらさ、「英語は70億人とつながれるツールである」みたいな回答が出てきてさ。

いやいやいや。

麻衣ちゃん、これ、なんか、みんな同じこと言ってますよ？って話でさ(笑)

A E O NもNOVAもE C Cも、み～んな同じこと言ってる。

つまり、英語が出来れば世界中の人と話せるようになりますよ、みたいな。

だからさ、僕からすると、みんな同じこと言ってるから、それがその人独自の言葉とは思えないんだよな～

だからさ、麻衣ちゃんが本気でそう思ってるとも思えないんだよ～って言ったんだけど。

そしたら麻衣ちゃんは、え～、でもさ、英語が出来たらほんとにいろんな人と話せるようになるんだよ～？？とかって言うわけで。

でもさ、なんか、それ、他の人も同じこと言ってるからさ、やっぱり麻衣ちゃんの言葉って感じがしないんだよな～って。

で、僕が麻衣ちゃんの話聞いてるとさ、なんか、麻衣ちゃんは「英語を使えばなにかから逃げられる」って言うてるように聞こえるんだよな～って言うてたわけ。

そしたら麻衣ちゃんは、そんなことないけどな～って言うてたんだけど。

で、この麻衣ちゃんのプロフィールはといふとこんな感じ。

まず彼女はひとりっこで。

お父さんはトヨタ系の企業の役員さんを務めた人で。

ママは専業主婦。

で、麻衣ちゃんはまあ、子供の頃からかわいいかわいって育てられてたわけで。

で、中学校はママのご意向に従って、中高一貫の女子高に入学しましたと。

もちろん、お受験対策ばっちりで合格しましたよと。

で、麻衣ちゃん、中学校でも品行方正。

なんか、学級委員とかもやっちゃう感じで。

ま、そんな感じだったんだけど。

そんな麻衣ちゃん。

高校はというと、これまたママのご意向で、また別の中高一貫の女子高に編入しましたよと。

ま、そんな感じだったんだけど。

なんと麻衣ちゃん。

この高校でいじめにあいまして。

いや、それがなんでだったのかは本人もわからないって言うし、だから僕も正確なところはわからないんだけど。

でも、僕が想像するに、麻衣ちゃんって見た目もそこそこかわいいからさ。

なんか、内部の子たちからしたらさ、なによ、あんたちょっとかわいいからっていい気になって！みたいな感じでいじめられたんじゃないかな～って思うんだけど。

ま、それが合ってるかどうかはわかんないんだけど。

でもまあ、麻衣ちゃんは高1の2学期くらいからいじめにあいまして。

それでもなんとかがんばって学校に行ってたんだけど。

高2になってからはもう学校に行けなくなっちゃってさ。

ま、そんな感じでずっと家にいるからさ。

これはどうしようってことになって、高2の9月からアメリカに留学することになったわけですよ。

でさ、麻衣ちゃんからするとさ。

私がこんな目に合ってるのに、学校の先生はもちろん、親も助けてくれない！みたいな感じなわけよ。

ママの言いつけを守ってちゃんとまじめにやってきたのに！！！！みたいな。

ま、そんな傷心の麻衣ちゃん。

アメリカに降り立つわけですが。

で、留学した先がまたオハイオ州っていうド田舎で。

しかも麻衣ちゃん自身は英語に興味があったわけでもないし、英語なんて全く話せない。

そんな状態でオハイオに降り立ったわけですが。

なんかね、空港にはホストファミリーが迎えに来てくれてたそう。

で、その日の夜にディナーを食べてる時に、ホストマザーが麻衣ちゃんに聞いたらしい。

なんて聞いたかっていうと、「マイはどんな子なの？^^」って聞いたらしい。

で、麻衣ちゃん、なにを思ったかっていうと、

けっ！って思ったらしい。

つまり、

私がどんな子とかってさ、私はママの言いつけを守ってまじめにやってきたのにさ、なんだかしらないけどいじめられて、しかも親も先生も助けてくれなくてさ。しかも、こんなド田舎で、言葉もわからないところに送り込まれて、なんなのよ！
って思ったらしい。

って思ったらしいんだけど。

でも、麻衣ちゃん、頭いいからさ。

これから3年間お世話になるこの家で、しょっぱなからそれをぶちかますのもよろしくないでしょうと。

だから麻衣ちゃんは、何をしたかっていうと、その人たちがよろこびそうな、明るく、元気で、前向きな私、っていう話をしたんだってさ。

そしたらさ。

なんとそのホストマザーが「You are Great!」って言ったらしくてさ。

それを聞きながら麻衣ちゃんは「けっ！私のことなんてなんにも知らないくせに！」って
思ってたらしいんだけど。

この麻衣ちゃん、しばらくしてふたつのことに気づきます。

1.

まず、麻衣ちゃんはほんとに英語が話せない状態でアメリカに行ったからさ。

麻衣ちゃんがなにかを話す時は、なんか、まわりの人たちがみんなめちゃくちゃ集中して
彼女の話聞いてくれるんだって。

でさ、麻衣ちゃんは、あれ？って思ったらしい。

だって、日本では麻衣ちゃんの話をおんなに一生懸命聞いてくれる人なんていなかったし、こんなに集中して聞いてくれる人もいなかったぞ？って。

で、ふたつめなんだけど。

2.

それがなにかっていうと、なんか話をしてさ、麻衣ちゃんがちょっと失敗したかなって思うくらい、ぶっとんだことを言っちゃったなって思ったときがあったらしくてさ。

てっきり否定されるかと思ったら、「Oh～、ジャパンではそうなのね！」って言って、麻衣ちゃんがおかしいのではなく、それは文化の違いだって受け入れられたんだって。

で、麻衣ちゃん、「えええええ！」って思ったらしくて。

つまりなにが言いたいかっていうと、自分の話はめっちゃ集中して聞いてもらえるし。

しかもしかも、なんかぶっ飛んだことを言ったときでも「それは文化の違いなのね」って言って受け入れてもらえる。

なにこれ？天国じゃ～ん！（ $\geq \nabla \leq$ ）

みたいになっただけでさ。

で、高校3年間、めちゃくちゃたのしく過ごしてさ。

で、麻衣ちゃんは大学もアメリカの大学に行きたかったらしいんだけど、そこはまた、お母さんのご意向で日本に呼び戻されてさ。

お嬢様大学を卒業して、トヨタ系の子会社に就職して。

ま、最初っから役員秘書になっただけ。

でさ、僕、知らなかったんだけど、役員秘書ってめちゃくちゃ忙しいらしいのね。

でさ、麻衣ちゃんは自分のことを「がんばってないと価値がない人間だ」って思うところがあるらしくてさ。

なんか、めちゃくちゃ忙しくなってくると、めちゃくちゃ忙しいのにもっとがんばろうとしちゃうらしくてさ。

で、なんかもう、死にそうになるんだって。

で、そうなると思えば、英語に触れたいと思うらしい。

ま、だから、英語圏の海外に行くっていう話なんだけど。

実は実は行先は決まっていて、それがどこかっていうと、ニューヨークらしくてさ。

でさ、麻衣ちゃん、単なる会社員ですよ？

サラリーマンですよ？

お給料だってそんなにあるわけじゃないのにさ。

なんかね、多い時で月に3回、ニューヨークに行ってたっていうのよね。

なんかもう、それ、ニューヨークに着いてそのままとんぼ返りって感じじゃんね、って
思って聞いてたんだけど。

でもさ、僕、それを聞いててさ、「あ、麻衣ちゃん、これで成約率上がるよ♪」って言ったわけ。

そしたら麻衣ちゃんがさ、「は？一條さんなに言ってんの？パワポ直してくれてないじゃん！！！」みたいな話でさ。

でも僕は「いやいやいや。今さ、この話したじゃん？だからこれで成約率上がるよ^^」みたいな話をしてたんだけど。

そしたらまた麻衣ちゃんが「は？何言ってんの？早くパワポ直してよ！」みたいな話になったんだけど。

ま、その成約率の話だけじゃなくて、社員さんの問題とかもいろいろあったからさ、まあまあまあ、みたいな感じでのりくらりとやってたんだけど。

で、3か月くらい経ってさ、麻衣ちゃんに、「そういえばさ麻衣ちゃん、今、成約率ってどんな感じ？^^」って聞いたらさ、麻衣ちゃんが「あ！忘れてた！そういえば一條さん、パワポ直すの手伝ってって言ったのに手伝ってくれてない！！！」とかって言い始めて。

で、「でもね、マイ、がんばってるからね、今、成約率100%」とかって言うわけですよ。

でね、僕が「な、だから言っただろ？あの時あの話をしたから成約率あがったんだって♪」って言ったらさ、麻衣ちゃんが「なに言ってるのよ！一條さん、な～んにもしてくれなかったじゃん！！！！マイががんばってるから成約率上がってんだよ！」って言うわけ。

で僕が「いやいやいや、麻衣ちゃん。あの時あの話をしたから成約率あがったんだって♪」って言ったらさ、麻衣ちゃんが「なに言ってるのよ！一條さん、な～んにもしてくれなかったじゃん！！！！マイががんばってるから成約率上がってんだよ！」って言うわけ。

で僕が「いやいやいや、麻衣ちゃん。あの時あの話をしたから成約率あがったんだって♪」って言ったらさ、麻衣ちゃんが「なに言ってるのよ、マイががんばってるから成約率伸びてるのに！なんでマイががんばったって認めてくれないのよ！」みたいになってさ。

ま、なんていうのかな。

僕は事業も人生も、うまくいくときもあれば、うまくいかなくなる時もあると思っていて。

だから、うまくいったときに、なんでうまくいったのかをちゃんと理解してれば、うまくいかなかった時でも立て直しがしやすくなると思ってるんですけどね。

だから、麻衣ちゃんにもなんでうまくいったのかを理解してほしいと思っていて。

ま、僕も興味があるし^^

で、麻衣ちゃんに聞いたわけ。

「いやいやいや。あの時にあの話をする前とした後で、なにか変わったことがあるはずなんだって。それまで言ってなかったことを言うようになったり、それまでやってなかったことをやるようになったりさ。だから、なんかないの？？？」って。

そしたら麻衣ちゃんが「そんなのなんにもないよ～。マイががんばってるからだって！」って言うわけ。

でまた僕が、「いやいやいや。あの時にあの話をする前とした後で、なにか変わったことがあるはずなんだって。それまで言ってなかったことを言うようになったり、それまでやってなかったことをやるようになったりさ。なんかないの??」って聞いたら、マイちゃんが「だからないってば！マイがかんばってるからだよ！なんで一條さんはマイがかんばってることを認めてくれないの!!!」みたいになってさ。

ま、でも、僕は絶対何かがあると思ってるから、「まあまあまあ。絶対なんかあるはずなんだってば！それまで言ってなかったことを言うようになったり、それまでやってなかったことをやるようになったりさ。なんかないの？」ってまた聞いてたらマイちゃんが「だからないってば〜。。。」「って言ってたんだけど、突然、
「あ」って言うからさ。

「どしたどした??」って聞いたらマイちゃんが「そういえば私最近、『女は女優』って言ってる」って言うから、「それっ!!! (≧▽≦)」って話になって。

あ、これ、どういうことかって言ったら、そもそも麻衣ちゃんの研修の対象者って、空港管理会社の女子さんたちなんですよ。

女子さんたちっていっても、航空会社のグランドホステスさんたちとはぜんぜんちがって、なんかじみ～な感じなのね。

だから、表舞台にあがるなんてとんでもない、って感じの人たちなわけ。

そうなんだけど。

なんか例のオモテナシの文化でさ、外人さんたちが地方の空港にもわんさか押し寄せるようになってきててさ。

彼女たちも外人さんと接する機会が増えて来てたりするわけですよ。

でさ。

麻衣ちゃんが教えてる内容って「たった3つの単語で英語で会話ができる」みたいなノウハウだからさ。

ま、空港で使われる英語なんてそんなにバリエーションないし。

だからそれでいけるわけなんですけど。

だから、このノウハウでとりあえずみんな、英語でコミュニケーションが取れるようになるわけ。

そうなんだけどさ。

でも彼女たちはやっぱり、英語で外人さんと話すなんてムリムリムリって思ってるわけ。

だってさ、基本的に地味な人たちだからさ。

影にひっそり隠れて生きていきたいってタイプだからさ。

そんな、外人さんと英語で話すなんてとんでもない。。。って思ってるわけ。

そんな彼女たちなんだけど。

その彼女たちの背中を、麻衣ちゃんの言葉が押すわけですよ。

「女は女優」って。

そうすると、みんな、「私は女優なんだ！」みたいな感じになって、舞台に上がっていく
というか、つまり、英語で外人さんたちと話すようになるわけ。

でさ。

これは僕の自分の研修とかでもやることなんだけど。

研修した後の感想を、ものすごくたくさん書いてもらうノウハウがあつてさ。

麻衣ちゃんも自分の研修ではその方法を使ってるわけ。

そうすると、普通の研修だったら感想が3行とかだったりするけど、麻衣ちゃんの研修を受けた人たちの感想は30行とかになってたりするのね。

そうすると、空港管理会社の上司さんたちはなにを思っちゃっていうと。

なんじゃ、この感想の量は！
この研修はすごいに違いない！
って思うわけで^^

しかもさ、実際、女の子たちが英語でコミュニケーションを取り始めるわけさ。
この研修はすごい！ってことになるわけですよ^^

でさ、よくよく聞いてみたらさ、麻衣ちゃん言ってる「成約率100%」っていうのは
なんのことはない、リピート率100%だって話でさ^^
でも、リピート率100%ってすごくない？っていう話で。

だからね、ま、なにが言いたいかっていうと、今自分がやっているコンテンツについての
自分の経歴を振り返ってみるだけで、思いもよらないような成果が出るかもしれません
ねってお話で^^

ま、実はこの麻衣ちゃん、この後、英語に絡んで自分の人生にものすごい変化を引き起こ
すことになるわけですが、それはまた別のお話^^

